

スポーツ文化事業計画「NO ACTION! NO FUKUOKA!」目指せ!未来のオリンピック!

報告

■専務理事

■総務室長

■財政規則審査委員
長

■財政規則審査副委
員長

--計画上程スケジュール

正副理事長会議/財政規則審査委員会/常任理事会/理事会

8月度/ 討議■ / 協議■ / 協議■ / 協議■

9月度/ 討議■ / 審議■ / 協議■ / 審議■

正副理事会/財政規則審査委員会/常任理事会/理事会

--報告上程スケジュール

正副理事長会議/財政規則審査委員会/常任理事会/理事会

12月度/ 討議■ / 審議■ / 協議■ / 審議■

正副理事会/財政規則審査委員会/常任理事会/理事会

- 議案名 : スポーツ文化事業計画「NO ACTION! NO FUKUOKA!」目指せ!未来のオリンピック!
- 室名/委員会名 : 魅力向上室 : スポーツ文化委員会
- 担当副理事長・専務理事 : 副理事長 : 水崎 浩二 ● 承認日 : --
- 担当室長 : 常任理事(室長) : 吉田 豊 ● 承認日 : --
- 文章作成者 : 委員長 : 大幡則文 ● 申請日 : --
- : 運営幹事 : 近藤瑛理
- 対応所務分掌規程① : .福岡市のスポーツ文化を調査・研究し、個と個を結ぶことによる経済の発展につながる事業の実施
- 対応所務分掌規程② : なし

[計画議案](#) [報告議案](#) [資料](#) [コンプラ](#) [収支予算書](#) [見積企業一覧表](#) [収支報告書](#) [支払先一覧表](#) [見積書・請求書](#)

SDGs 設定



持続可能な生産消費形態を確保する

- 12.8 : 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
- 12.b : 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。

事業要項

1. 事業背景

アクションスポーツは、次々にオリンピック種目に採用され将来的に新たなスポーツ文化として定着する可能性を秘めています。競技人口は増加傾向にあるものの、福岡での大会開催は非常に少なく、練習を禁止されている公園も多くあります。そのため「する」機会、「見る」機会が少なく、子供たちが実際に触れ合う機会も限られています。まちにアクションスポーツ文化が根付くためには、そうした機会の創出が必要です。

2. 事業目的

【対内】

- ・アクションスポーツのまちFUKUOKAの実現に向けた機運を高めること。
- ・アクションスポーツの魅力と楽しさを感じていただくこと。

【対外】

- ・アクションスポーツをFUKUOKAの新たなスポーツ文化としての定着と発展を図ること。

- ・多くの子供たちにアクションスポーツの魅力、楽しさを感じていただくこと。
- ・JCI福岡の活動に興味を持っていただくこと。

2-1. 事業目的達成の検証

<対内>

【検証】

事業に参加していただいたメンバーの中には本来事業のお手伝いだけの予定だったが、楽しそうに体験している子供たちを見て、自分の子供にも体験させたいと当日受付に来ていただいたメンバーや事業参加後、子供の希望でスケートボードを購入したメンバーやパルクールのスクールに問い合わせたメンバーが実際に居たことは、『魅力・楽しさを感じる』『機運を高める』という目的を達成したと考えます。

<対外>

【検証】

体験会に参加していただいた保護者の中には『アクションスポーツに興味はあったが気軽に体験できる機会が無かったため今回のイベントは本当に嬉しい』や『次のイベント開催も期待している』という声を多く聞くことが出来ました。また体験終了後に独自で講師にスクールの場所等を問い合わせる保護者や子供たちもいらっしゃいました。『見る』だけでなく『する』両体験を一つの会場で行ったことで、魅力・楽しさをより感じていただき、競技人口増加にも繋がったことから新たなスポーツ文化定着の一助けとなったと考えます。また、講師の方や競技者からも「来年も是非一緒にやって欲しい」「次の大会はいつですか」という声も多くいただき、福岡青年会議所の活動内容もしっかりと発信でき、興味を持っていただけたものと考えます。

(報告) アンケート結果 (メンバー用)

(報告) アンケート結果 (一般参加者用)

3. 事業対象者

【対内】 (予定/対象者)

JCI福岡正会員	225名/225名 (2023年7月末時点)
中期仮入会者	36名/36名
後期仮入会予定者	50名/50名
合計	311名/311名

【対外】 (予定/対象者)

10,000名/1,632,713名(2023年3月1日現在福岡市人口数)

対外対象者算出根拠

過去事業参加者数

2022年カラフルフェス来場者数

3-1. 事業対象者の参加実績と事業対象者に関する検証

【対内】 (実績/予定)

JCI福岡正会員	76名/225名 33.7%
9月正式入会	6名/22名 27%
後期仮入会予定者	1名/24名 0.04%
合計	83名/271名 30.6%

【対外】 (実績/予定)

10,437名/10,000名
事業1日目：6463名
事業2日目：3974名
合計：10,437名 104%

BMX体験会場、スケートボード体験会場を秋永委員、プレイキン体験会場、パルクール体験会場を高島委員に2日間に渡って数取器でカウントを実施致しました。それぞれの体験会場前に静止し、会場を覗いている方のみカウント致しました。

事業概要

1. 決算総額

1,479,089円 (収支報告書)

1-1. 決算に関する特記事項

【RKB様負担費用】

- ・製作するセクション費用
- ・事業2日目各種目体験会費用

1-2. 予算・費用対効果の検証

【予算と決算の差異について】

以下のとおりです。

■テントウェイト 7,290円 ⇒ 0円

(理由) 当初、稲尾産業よりレンタル予定でしたが、サエキジャパンから調達したため0円となりました。

■レクリエーション保険 44,380円 ⇒ 0円

(理由) 手配漏れでした。事業終了後に発注してないことが判明しました。

(原因) 事前支払いの指示が委員会内で出来ていなかったことが原因です。

(対策) 事前支払いがあるものに関しては審議可決後速やかに手配し、手配ができていないか必ずダブルチェックをするように致します。

(反省) 今回、事業参加者が怪我無く終了できたことが不幸中の幸いでした。

JC保険で対応するためにはレクリエーション保険をオプションを付ける必要があり、今回もし事故が起こっていたら対応不可でした。

このようなミスがないように審議可決後、速やかに手配を行い、委員会内にてダブルチェックの対応を行い、手配漏れを防ぎます。この内容につきましては次年度以降に引き継いでまいります。

■振込手数料 2,475円 ⇒ 2,090円(▲385円)

(理由1) 稲尾産業へ現金支払いで行いました(▲55円)

(理由2) レクリエーション保険への支払いがなくなりました(▲330円)

【予備費について】

予備費は使いませんでした。

【RKB様負担額】

- ・セクション代：90万円(3種目：BMX、パルクール、スケボー)
- ・事業2日目体験会：40万円(4種目：BMX、パルクール、スケボー、ブレイキン)

2. 実施日時

【事前準備】

2023年10月13日(金)13:00～17:00

【実施日】

2023年10月14日(土)10:00～16:00

2023年10月15日(日)10:00～16:00

3. 実施場所

■場所：株式会社RKBホールディングス 駐車場

■所在地：福岡市早良区百道浜2丁目3-8

4. 外部協力

【共催】

- ・RKB毎日放送株式会社

【後援】

- ・福岡県人づくり県民生活部スポーツ局
- ・福岡市教育委員会
- ・公益財団法人福岡県スポーツ推進基金

5. 事業内容の検証

事業選定理由

NO ACTION! NO FUKUOKA! 目指せ! 未来のオリンピック!

これまで福岡青年会議所はプロ野球球団やプロサッカーチームの誘致活動に取り組み、スポーツを通してまちづくりを行ってきました。

そして2022年、福岡青年会議所より福岡市へ提出した提言書にも福岡をアーバンスポーツシティ、つまりアクションスポーツの聖地となるようにとの内容も含んでいます。

アクションスポーツはオリンピック種目に採用され官民双方から大変注目されているスポーツですが、関係各所にヒアリングを行った結果、日本では遊びから派生したスポーツという特徴から練習場所が少ない、道路や公園をフィールドとするものも多いため不良の遊びといった悪いイメージがある、安全性や交通秩序を守る観点から規制の対象となっている、地域に根ざしていないなどという声が多くありました。

まずはイメージの改善を図るため、子供向けの大会と体験会を実施し、子供たちの真剣な表情と笑顔を届けます。

今回はRKB毎日放送株式会社様と共催することによりメディアを利用して、来場されていない市民に向けても「不良の遊び」から子供たちが活躍する「可能性があるスポーツ」として広く発信します。

今後もイメージの改善を続け、多くの課題を解決するためにも継続的に広く市民にアクションスポーツに触れ合い、子供たちが体験できる仕組みをつくる必要があります。

〈競技者ヒアリング議事録〉

[□BMX議事録](#)

[□スケートボード議事録](#)

[□パルクール議事録](#)

[□ブレイキン議事録](#)

〈行政ヒアリング議事録〉

[□福岡県議事録](#)

[□福岡市議事録](#)

[□福岡県スポーツ推進基金議事録](#)

〈先輩ヒアリング議事録〉

[□橋田先輩ヒアリング](#) (ツールド・ド・フクオカ)

[□中間先輩ヒアリング](#) (中洲JAZZ)

〈ヒアリングから見てきた課題〉

[□アクションスポーツの課題](#)

体験会を定期的で開催していただくために公益財団法人 福岡県スポーツ推進基金と協議を行い、福岡青年会議所が体験カリキュラムの作成とセクションの提供、BMX、パルクール、スケートボード、ブレイキンの団体との繋ぎ合わせを行います。

今回の事業を第一回目の体験会とし、来年度以降は継続的に公益財団法人 福岡県スポーツ推進基金に体験会を開催してもらうことで継続的に「する機会」を提供します。事業終了後は福岡県スポーツ推進基金と2か月に1度打合せを実施し、継続的に情報、意見交換を実施致します。

【検証】

アクションスポーツ認知度、イメージ向上のため、子供たちを巻き込み体験会、大会を実施しました。参加した子供たちの保護者からは「楽しんでた」「はじめてやったが競技の印象が変わった」「またやらせたい」「習える場所を教えて欲しい」など多くの声をいただき、イメージ向上と競技の楽しさを広く発信できた一方で「やれる環境が周りにない」「教えてくれる人がいない」など問題点も直接聞くことができました。これは継続的にアクションスポーツに触れる機会をつくるのが課題の一つだと実感しました。今後は福岡スポーツ推進基金様が事業を継承いただきますが、体験会運営でボランティアなどが必要となった場合は委員会として今後もサポートさせていただきます。

《事業概要》

1. 体験カリキュラムの作成とセクションの提供

「体験カリキュラムの作成」

下記の競技団体と協議を行い当委員会で体験カリキュラムを作成します。

BMX：株式会社YAKATA

パルクール：一般社団法人 パルクールスクール協会

スケボー：福岡県ローラースポーツ連盟

ブレイキン：九州男児新鮮組

作成したカリキュラムは事業終了後、公益財団法人 福岡県スポーツ推進基金に電子データで提供します。

□カリキュラム作成スケジュール

「セクションの提供」

専門家にアドバイスをいただきながら当委員会でセクションを制作します。

制作予定セクション

□BMX用セクション

□パルクール用セクション

□スケートボード用セクション

※ブレイキンはセクション不要のため入っておりません。

【安全性について】

製作するセクションは過去の体験会で実績のある大きさ、部材を使用して製作致します。過去の体験会にてセクションが壊れたこと、怪我や事故の報告はありません。

【達成できた点】

各種競技のカリキュラム(データ)、セクションを作成し、10月31日に福岡県スポーツ推進基金様へ提供させていただきました。セクションはいつでも使えるよう福岡スポーツ推進基金様提携の倉庫で保管をされています。今後の活用については来年2月に開催されるブレイキン世界大会の会場にてアクションスポーツ体験会を実施、その後福岡県各地方自治体へ広げていく予定となっております。

【達成できなかった点】

事業当日までにセクションは完成したものの、塗装が間に合わず、事業終了後に委員会メンバーで塗装作業を実施致しました。

【検証】

プロに指導いただきながら、委員会メンバーでカリキュラム、セクションを作成、提供することができ福岡スポーツ推進基金、中平専務理事に感謝のお言葉を頂戴しました。しかしながら、材料の納期遅れなどがあり、塗装作業が事業当日までに間に合いませんでした。もっと入念に工程、納期を確認しておくべきだったと反省しています。

□(報告)BMXカリキュラム

□(報告)スケートボードカリキュラム

□(報告)パルクールカリキュラム

□(報告)ブレイキンカリキュラム

□(報告)セクション

□(報告)今後の運用について

2. アクションスポーツ体験会の開催

福岡タワー前広場にてBMX、パルクール、スケートボード、ブレイキンの4種のアクションスポーツの大規模な体験会を実施します。また、中学生以下のスケボーの大会を開催しアクションスポーツをしている子供たちが技術を披露する場所の提供を行います。エキシビジョンでは世界で活躍するプロダンサーの技を披露してもらいアクションスポーツをやっている子供たちの目標となってもらいます。

この事業が継続的にアクションスポーツを体験する機会を形成していくきっかけとするため、来年度以降は公益財団法人 福岡県スポーツ推進基金に事業カリキュラムを引継ぎ、1年間で10回程度の開催を予定しております。継続的に開催することでFUKUOKAのファンを獲得し、メディアを巻き込み、アクションスポーツのイメージ改善、こども未来都市宣言の短期目標であるアクションスポーツの浸透に繋がっていきます。

《事業スケジュール》

【前日準備】10月13日(金)

12:30 メンバー集合、説明
13:00 搬入・セクション設営準備
17:00 終了

【当日タイムスケジュール】10月14日(土)

07:30 委員会メンバー集合
07:35 当日の流れ確認
07:40 リハーサル開始
09:15 リハーサル終了・最終打合せ
09:25 5分前アナウンス 担当：森副委員長
09:30 開会宣言 担当：森副委員長
09:31 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業の趣旨説明）
09:35 一般客開場・受付開始
10:00 体験会スタート
（BMX体験会場）（スケートボード体験会場）体験会は1セッション15分で実施
（パルクール体験会場）（ブレイキンメイン会場）体験会は1セッション45分で実施
11:50 10分前アナウンス（キッズスケートボード大会）
11:55 理事長挨拶
12:00 キッズスケートボード大会 開催
14:00 キッズスケートボード大会 終了
15:00 ブレイキンエキシビジョンマッチ(九州男児新鮮組 VS KAKU選手 VS TSUKKI選手)
16:00 体験コーナー終了
16:10 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業1日目終了のお礼）
16:15 片付け開始
17:00 片付け完了
17:05 事業1日目反省ミーティング
17:30 解散

■タイムスケジュール実績

07:30 委員会メンバー集合
07:35 当日の流れ確認
07:40 リハーサル開始
09:15 リハーサル終了・最終打合せ
09:25 5分前アナウンス 担当：森副委員長
09:30 開会宣言 担当：森副委員長
09:31 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業の趣旨説明）
09:35 一般客開場・受付開始
10:00 体験会スタート
（BMX体験会場）（スケートボード体験会場）体験会は1セッション15分で実施
（パルクール体験会場）（ブレイキンメイン会場）体験会は1セッション45分で実施
11:35 ビジョンカー前にて事業PR（大幡委員長）
11:50 10分前アナウンス（キッズスケートボード大会）
11:50 理事長挨拶
12:00 キッズスケートボード大会 開催
14:00 キッズスケートボード大会 終了
15:00 ブレイキンエキシビジョンマッチ(九州男児新鮮組 VS KAKU選手 VS TSUKKI選手)
16:00 体験コーナー終了
16:10 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業1日目終了のお礼）
16:15 片付け開始
17:00 片付け完了
17:05 事業1日目反省ミーティング
17:30 解散

【達成できた点】

下記、達成できなかった点以外はタイムスケジュール通りに運営することができました。

【達成できなかった点】

進行管理役の森副委員長が時間を誤り理事長挨拶を5分早めてしまいました。結果、11時55分からの理事長挨拶を聞くことができないメンバー方がいらっしゃいました。慌てずしっかりと時間管理を行っていただければ防げたミスでした。

【検証】

司会進行表の時間を慌てずしっかりと確認するべきでした。また、11時35分からRKB様のご好意で5分間ビジョンカー前にて事業PRタイムを準備頂きました。

■(報告)ビジョンカー前PRタイム

【当日タイムスケジュール】10月15日(日)

08:30 委員会メンバー集合
08:35 1日目の注意点、当日の流れ確認
09:00 各体験会ブーススタンバイ
09:25 5分前アナウンス 担当：森副委員長
09:30 開会宣言 担当：森副委員長
09:31 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業の趣旨説明）
09:35 一般客開場・受付開始
10:00 体験会スタート
（BMX体験会場）（スケートボード体験会場）体験会は1セッション15分で実施
（パルクール体験会場）（プレイキンメイン会場）体験会は1セッション45分で実施
16:00 体験コーナー終了
16:10 委員長挨拶 担当：大幡委員長（事業実施の感想とお礼）
16:15 閉会宣言 担当：森副委員長
16:17 集合写真 担当：秋永委員
16:30 片付け開始
19:00 片付け完了・完全撤収

■タイムスケジュール実績

上記スケジュール通りに実施することができました。

[□司会進行表](#)

[□役割分担表](#)

[□体験会スケジュール一覧](#)

[□事前チェックシート](#)

《キッズスケートボード大会詳細》

[コンテスト参加条件]

ジュニアクラス(小学校4～中学校3年生)

参加人数：20名

[タイムスケジュール]

12:00 大会説明(吉川代表)
12:05 練習開始
12:30 練習終了
12:35 競技開始
13:50 競技終了
13:51 表彰式
14:00 大会終了

[競技進行方法]

●練習

5人1組のグループに分け45秒の公式練習を1人2回行います。

1グループ約5分の公式練習時間

●本番

練習終了後、12時35分より本番滑走45秒を1トライの流れとなります。

1グループ5名、本番から採点が終了するまで約20分程度要します。

競技終了を13時50分とし、13時51分より表彰式を開始します。
上位3名、3位、2位、1位の順番で発表します。
採点結果は大会終了後、受付テントで閲覧できるようにします。

- [□大会マニュアル](#)
- [□審査員プロフィール](#)

【達成できた点】

スケートボード大会の告知をadapt project吉川代表と上手く連携ができ、23人にエントリーをしてもらうことができました。
また、大会参加選手に答えていただいたアンケート結果では全員、「とてもよかった」「よかった」「福岡のまちにアクションスポーツを発信できた」と回答いただきました。大会自体も上記スケジュールどおりに実施できました。

【達成できなかった点】

事業2日前にキャンセルが3名、当日に体調不良で4名が欠席となり、大会参加者が16名/20名になってしまいました。

【検証】

キャンセルがでた時点で他大会参加者を探しましたが、当日までに3名集めることができませんでした。SNSでの発信や他のスケートボード関係者へもっと連絡するべきだったと反省しています。また、当日キャンセルも予想してキャンセルが出た場合当日参加も可能なチラシに告知を打つべきでした。

- [□\(報告\)競技者アンケート](#)
- [□\(報告\)大会エントリー一覧](#)
- [□\(報告\)大会出場者一覧](#)
- [□\(報告\)大会風景](#)

★BMX★

体験コーナー詳細

- 対象：小学校1年生～6年生
- 体験時間：15分間
- 体験人数：10名
- 指導員：5名(2人の体験者につき1名指導員を配置)

【内容】

- (1)パークルール、マナー指導(約1分)
 - (2)自転車におけるバランスの取り方、運転技術のポイント説明(約1分)
 - (3)コーンを利用したの走行(約5分)
 - (4)アップ、ダウンのセクション(添付参照)を2つ使った走行(約5分)
 - (5)自由走行(約3分)
- 合計：15分

【使用するBMXについて】

- 12インチ：大よそ小学校低学年
 - 14インチ：大よそ小学校低学年
 - 16インチ：大よそ小学校中学年
 - 18インチ：大よそ小学校高学年
 - 20インチ：大人用
- 上記、BMXを各2台、合計10台用意致します。

【安全対策】

ヘルメットを一式、体験人数分用意致します。
また、接触しないよう一人一人の間隔を広く保ち体験会を実施します。

- [□体験会イメージ](#)
- [□株式会社YAKATAプロフィール](#)
- [□株式会社YAKATA依頼状](#)
- [□株式会社YAKATA御礼状](#)

【株式会社YAKATA選定理由】

福岡を拠点にしてるBMX団体であり、体験会からセクション設営まで行える福岡で唯一の企業、また、株式会社YAKATAに所属している松本翔海選手は本年度のJCI福岡紹介動画出演、新春例会、4月度講師公開例会にも参加いただいております。経歴についても申し分ないことから選定致しました。

【体験会参加人数】

87名/100名

【達成できた点】

1日目の参加者が43名/50名(86%)、2日目の参加者が44名/50名(88%)と高い参加率となりました。

【達成できなかった点】

朝10時の回の予約が埋まっておらず、会場内の一般の方に当日参加を呼びかけましたが満員には至りませんでした。また、他競技と違い自転車のサイズに制限があり、枠は空いていても身長に合った自転車がなくやむを得ずお断りするケースも発生しました。

【検証】

多くの子供たちにBMXの楽しさを発信でき、体験していただけたと思います。BMX体験中の保護者から「スクールを紹介してほしい」との要望が複数回あり、設営協力頂いた株式会社YAKATAの担当者へ取り次ぎました。スクール会場が福岡市内ではないことから断念されたようですが、本事業の波及効果が見られたと共に事業背景記載のハード面を主とした「する機会」が不足している課題を強く感じました。

□(報告)BMX体験コーナー風景

★スケートボード★

体験コーナー詳細

【スケートボード体験マニュアル作成】

○対象：小学校1年生～6年生

○体験時間：15分間

○体験人数：6名

○指導員：3名(2人の体験者につき1名指導員がつきます)

【内容】

(1)パークルール、マナー指導(約1分)

(2)準備体操(約1分)

(3)パットの重要性、パットを使用しての正しい転び方(約2分)

(4)正しいスケートボードの乗り方&降り方(約1分)

(5)止まった状態で様々な動き(バランスのとり方)(約1分)

(6)プッシュ(足で漕いで前に進む)(約1分)

(7)フットブレーキ(止まり方)(約1分)

(8)自由走行(約7分)

合計：15分

【使用するスケートボード】

7.0インチ：大よそ小学校低学年

7.25インチ：大よそ小学校中学年

7.5インチ：大よそ小学校高学年

8.0インチ：大人用

上記、スケートボードを各2台、合計8台用意致します。

【安全対策】

ヘルメット、肘膝のプロテクターも一式、体験人数分用意致します。

また、接触しないよう一人一人の間隔を広く保ち体験会を実施します。

□体験会イメージ

□adaptprojectプロフィール

adapt project依頼状

adapt project御礼状

【adapt project選定理由】

福岡を拠点にしているスケートボード団体であり、体験会からセクション設営まで行えます。福岡市スケートボード協会、スケートボードショップなどにも依頼をしましたがセクション設営まで行える団体が他になく、adapt projectを選定致しました。

【体験会参加人数】

98名/108名

【達成できた点】

1日目の参加者が40名/48名(83%)、2日目の参加者が58名/60名(96%)と高い参加率となりました。

【達成できなかった点】

1日目の午前中、事前登録いただいた方のキャンセルが相次ぎ、うまく対応することができませんでした。

【検証】

1日にキャンセルが出た際、空いている時間帯に誘導するなどの対応ができませんでした。その反省も生かし2日目はキャンセル時の対応がうまくいき、参加率96%とほぼ満員の状況をつくることができました。また、スケートボード大会後、2日目の予約をしていく方もいらっしゃり、「見る機会」「する機会」の提供ができたと感じています。

(報告)スケートボード体験コーナー風景

★ブレイキン★

体験コーナー詳細

○対象：小学校1年生～6年生

○体験時間：45分間

○体験人数：20名

※10/26に会場レイアウト変更があり、ブレイキンの会場が狭くなりました。

講師の方と相談し安全面を考慮し体験人数を10名としました。

○指導員：3名

【体験内容】

(1)ルール説明、マナー説明(約1分)

(1)インストラクター紹介&デモンストレーション (約5分)

(2)ストレッチ&レッスン内容(約4分)

(3)ブレイキンを踊るための3つの動き&1つのスキル (約5分)

〈3つの動き〉

・トップロック

・フットワーク

・パワームーブ

〈スキル〉

・フリーズ

(4)トップロック1つ (約5分)

立った状態で踊るブレイクダンス

(5)フットワーク1つ (約5分)

座った状態で動くブレイクダンス

(6)パワームーブ&フリーズ (約10分)

チェアー・ウィンドミル・バックスピン

(7)音楽に合わせて組み合わせ (約5分)

トップロック→フットワーク→パワームーブの流れで1ムーブ作り

(8)ブレイクダンスバトルデモンストレーション (約5分)

受講の子供たちも含めてダンスバトルデモンストレーション

以下の技を組み合わせでデモンストレーションを行います。

合計:45分

【安全対策】

気温や体験会参加者の顔色を注意深く観察し、異常があれば指導員と連携して体験会を中断、速やかに休憩を入れるように致します。

す。

〈トップロック内容〉

- ・キックアウト
- ・イーグルステップ

〈フットワーク内容〉

- ・ワンステップ
- ・CC

〈パワームーブ&フリーズ内容〉

- ・サイドチェアー
- ・バックスピン
- ・ウィンドミル

□体験会イメージ

□九州男児新鮮組プロフィール

□九州男児新鮮組依頼状

□九州男児新鮮組御礼状

【九州男児新鮮組選定理由】

福岡を拠点にしてるブレイキンチーム。他のブレイキンチームも出演交渉致しましたが、事業開催日と予定が合う選手がいない、また体験会を実施できない理由から経歴も申し分ない九州男児新選組を選定致しました。

【エキシビジョンマッチ 九州男児新鮮組 VS KAKU選手 VS TSUKKI選手】

「見る機会」の創出として、ブレイキントップダンサーお二方をお招きし、体験会を指導いただく九州男児新鮮組とダンスバトルのエキシビジョンマッチを実施します。

□KAKU選手プロフィール

□KAKU選手講師承諾書

□KAKU選手依頼状

□KAKU選手御礼状

□TSUKKI選手プロフィール

□TSUKKI選手講師承諾書

□TSUKKI選手依頼状

□TSUKKI選手御礼状

【体験会参加人数】

64名/90名

【達成できた点】

1日目の参加者が26名/40名(65%)、2日目の参加者が38名/50名(76%)参加率となりました。また、エキシビジョンマッチは約200名を超える方が会場前に集まり大変な盛り上がりを見せました。

【達成できなかった点】

10/26に会場レイアウト変更があり、ブレイキンの会場が狭くなったことで講師の方と相談し安全面から体験会人数の受け入れを20名→10名に変更しました。

【検証】

いざ体験をやろうとすると「恥ずかしい」「やっぱりやりたくない」と言い出す子供たちも多く、体験の機会を失うことになりました。委員会メンバーも体験をやってもらうよう子供たちに声掛けをおこなったのですがうまく誘導することができませんでした。しかし、エキシビジョンマッチの効果は大きく、会場前では多くの方に観戦いただきました。エキシビジョンマッチでは講師の方のご好意で前川理事長も急遽ダンスバトルに加わっていただき会場を大いに盛り上げていただきました。しかしながら議案内容とは違ったことを行ったことについては反省するべき点で、講師の方と当日事前に打ち合わせをして検討しておくべきだったと反省しています。エキシビジョンマッチ後は体験会を予約していく方が多く、結果2日目は多くの子供たちにブレイキンを体験してもらうことができました。

[□\(報告\)ブレイキン体験コーナー風景](#)

[□\(報告\)エキシビジョンマッチ風景](#)

★パルクール★

体験コーナー詳細

○対象：小学校1年生～6年生

○体験時間：45分間

○体験人数：15名

○指導員：3名(セクション内にそれぞれ配置)

【内容】

(1)ルール説明、マナー説明(約1分)

(2)準備体操(約4分)

(3)大きな障害物を使って飛び越える、飛び移るの動作(約10分)

(4)休憩(約10分)

(4)鉄棒を使ってくぐる、渡るの動作(約10分)

(5)コース全体を使ったタイムアタック(約10分)

合計：45分

【安全対策】

休憩を10分入れるだけでなく、当日の気温を観ながら適切に水分補給をするよう呼びかけます。

[□体験会イメージ](#)

[□一般社団法人パルクールスクール協会プロフィール](#)

[□一般社団法人パルクールスクール協会依頼状](#)

[□一般社団法人パルクールスクール協会御礼状](#)

【一般社団法人パルクールスクール協会選定理由】

福岡を拠点にしてる唯一のパルクール団体。体験会、セクションの設営まで行えるため、選定致しました。

【体験会参加人数】

145名/150名

【達成できた点】

1日目の参加者が70名/75名(93%)、2日目の参加者が75名/75名(100%)と今回のアクションスポーツ体験会の中で最も高い大会参加率となりました。

【達成できなかった点】

1日目、事前登録いただいた方のキャンセルがでた際に、うまく空いてる時間に誘導することができませんでした。

【検証】

事前申込み時からパルクールは人気があり、2日間通して145名/150名(96%)と定員に対してほぼ満員という状態をつくることができました。また、事業終了後、講師をしていただいた一般社団法人パルクールスクール協会には10名ほど新規の生徒が増えたとの報告もいただき、一定の波及効果があったと考えます。

[□\(報告\)パルクール体験コーナー風景](#)

«会場選定理由»

- ・RKBから協賛をいただきカラフルフェスとダブルイベントとして開催するため
- ・交通の便が良いこと（高速道路の入り口が近い・バス停が近い・駐車場が多い）
- ・観光客も多いため、一般市民を巻き込める

【カラフルフェス】

RKBのテレビ・ラジオ・オンラインが一体となったイベントとして、昨年に引き続き開催となる「RKBカラフルフェス2023」。キャッチフレーズは「ミライにつなぐ秋まつり」。放送局ならではの多彩なコンテンツと、パートナー（企業・団体）とのコラボ

レーションによって、マルシェやお仕事体験等楽しいコンテンツがある秋まつりです。

- [□会場全体図](#)
- [□会場人員配置、警備、導線図](#)
- [□カラフルフェス全体図](#)
- [□会場アクセス案内](#)
- [□会場駐車場案内](#)
- [□のぼりイメージ](#)

【達成できた点】

カラフルフェスと同時開催をさせていただいたため、当日は多くの方に参加いただきました。

【達成できなかった点】

RKB様の会場をお借りしての事業だったため、入念に打合せはしていましたが10/26、物品の搬入経路確保のため、福岡タワー側の依頼などを理由に会場レイアウト変更依頼がありました。

※同日(10/26)に専務決済をいただき、会場レイアウト変更については承認いただきました。

【検証】

カラフルフェスと同時開催で多くの方にご参加いただけました。しかしながら急遽のレイアウト変更などRKB様の意向を組まなければならない事象なども発生し、共催のデメリットも感じました。

□(報告)会場レイアウト変更

《4月度講師公開例会との関連性について》

講師公開例会では、アクションスポーツに関わる人や行政をターゲットに福岡のアクションスポーツの現状、多岐にわたるアクションスポーツの種類、また今後の可能性、アクションスポーツを福岡に発展させていくための戦略について講演をいただきました。

問題を知ることで課題が見え、どうしていけば良いのかの道筋が見えてきたところで次に行うべきは、アクションスポーツ関係者や行政だけではなく市民を巻き込み、市民に対して「する」機会と「見る」機会を創出し、市民に楽しみや夢、感動を与えることを目的とし今回は子供たちをメインにした体験型の事業を計画しました。

この事業をきっかけに市民、他団体、行政、民間企業など協力者を増やすことで、福岡でアクションスポーツが普及し、地域のスポーツとして根付いていく未来への取り組みを行い関連付けます。

【検証】

今回の事業を通して「する」機会と「見る」機会を創出できたと考えます。福岡でアクションスポーツが普及し、地域のスポーツとして根付いていく未来への一歩を踏み出せました。

《アンケート》

事業目的達成を検証するアンケートを実施します。

アンケートの記入および回収は対内・対外共にWEBで行います。

具体的には会場内にアンケートのURLを貼り、随時答えていただきます。

また、体験会の講師、スケートボード大会に参加する競技者へのアンケートも実施します。

【対内アンケート】

- ・事業実施後に対内アンケートを実施し、事業目的達成の検証を行います。
- ・アンケートは回答しやすいようにアンケートフォームを作成し、@LINE、副委員長間LINEにて回答を促します。
- ・執行部に関しては常務理事、各委員会においては副委員長に取りまとめていただき、1週間を目途に回答していただきます。
- ・アンケート記入はLOMの皆様、一般参加者の皆様共にすべてWeb上で完結できるようにします。
- ・紙の不使用で環境へも配慮します。

【対外アンケート】

- ・会場内にアンケートQRコードのついた看板を設置し、事業実施中から終了まで案内を促します。
- ・体験会に応募いただいた方、全員に事業後にアンケートをメールにてお送りし事業へのアンケートを促します。
- ・事業開催中にQRコードを持ち会場内を回り参加者へアンケートを促します。

- [□アンケート（一般参加者用）](#)
- [□アンケート\(講師用\)](#)
- [□アンケート\(競技者用\)](#)
- [□アンケート（メンバー用）](#)
- [□QRコード（一般参加者用）](#)
- [□QRコード\(講師用\)](#)
- [□QRコード\(競技者用\)](#)
- [□QRコード（メンバー用）](#)

【検証】

当日はQRコードを受付だけでなく会場全体に張ることと、委員会メンバーが直接QRコードを持って巡回し一般参加者の回答率のアップを図りました。兄弟で参加された保護者はアンケートをまとめているケースがあり、当日の呼びかけが必要でした。また、体験会に参加されず観覧のみの一般の方に対してもブースに定期的にアンケートの声掛けする係をつけるべきでした。

- [□\(報告\)アンケート結果（一般参加者用）](#)
- [□\(報告\)アンケート結果\(講師用\)](#)
- [□\(報告\)アンケート結果\(競技者用\)](#)
- [□\(報告\)アンケート結果（メンバー用）](#)

《体験会応募フォーム》

体験会は定員538名のため、事前申込みの抽選と致します。

- [□体験会申し込みフォーム](#)
- [□受付完了メール](#)
- [□当選メール](#)
- [□落選メール](#)

【達成できた点】

事前申込みにしたことで1日目、2日目共に参加者状況を把握することができ、空いている時間帯の体験会へスムーズに誘導することができました。

【達成できなかった点】

応募も多かったこと、時間帯も種目も複数に分かれていたことから、落選メールが届いていない方がいらっしゃいました。また、メールにてキャンセル連絡いただいた方には返信をさせていただくことができませんでした。

【検証】

この人数の体験会を事前に受け付ける場合は多少費用がかかってシステム、ソフトなど使うべきだと感じました。当選、落選の連絡は委員会メンバーで対応しましたがかなりの時間を要しました。また、当日の急遽キャンセルにつきましては告知の段階からキャンセルが発生した際は体験会に参加できるなどの文章を記載し周知しておけば対応ができたと考えます。

6. 広報計画の検証

【対外】

■事業チラシ制作

各種告知の受け皿として事業チラシ制作します。
JCI福岡HPへの記事ページ掲載を広報渉外委員会へ依頼します。

- [□事業チラシイメージ](#)
- [□チラシ配布計画](#)
- [□平間局長後援名変更依頼メール](#)

■メディアへの広報活動

RKB様のご協力により当日はもちろん、前日の設営段階で取材に入っただき、夕方の番組内で広報をしていただきます。

■スポーツショップへの広報活動

ムラサキスポーツ様に店舗へのチラシ配布の許可をいただきました。福岡市内の店舗へ配布致します。

■体験ブースの指導員としてご協力いただく各アクションスポーツ教室の生徒に参加を呼びかけ、集客を行います。

■SNS(Facebook、Instagram)における広報活動

広報渉外委員会に依頼し、JCI福岡公式アカウントから事業内容をPRし、参加促進を図ります。

JCI福岡公式Facebookイメージ

JCI福岡公式Instagramイメージ

■JCI福岡ホームページにおける広報活動

広報渉外委員会に依頼し、JCI福岡ホームページにて事業内容をPRし、参加促進を図ります。

JCI福岡公式ホームページイメージ

広報写真イメージ

【達成できた点】

事業チラシ10000枚配布をメインに、SNSや福岡青年会議所HPによる告知、RKB様にご協力いただき事業前のCMと事業当日に生放送番組内にて放映していただきました。

参加者の中には放映内容を見て応募した声もあり、また各アクションスポーツに関連する施設（ジムや関連商品を取り扱う店舗）にチラシを置かせていただく事でチラシの効果だけではなく、施設の担当者や店舗の従業員からの口コミでの宣伝効果も見られました。これは各アクションスポーツの体験ブースにおいて、事前受付・当日申込からどの時間帯もほぼ満員となった結果からも判断できます。

【達成できなかった点】

広報媒体の効果を確認するための段取りが出来ていませんでした。たとえば、市内の体育館や関連施設へ設置したチラシの残枚数の確認が出来なかったことや、一般参加者用のアンケートに『今回の事業をどこで知ったのか』という内容の質問を入れていなかったこと、広報計画の結果を確認することができませんでした。

【検証】

今後の事業のために、チラシ残枚数の確認をするために設置したチラシの後日回収、アンケートにて情報取得の要因を確認する必要があります。

（報告）チラシ配布活動

（報告）RKB中継

【対内】

■例会における広報活動

9月財政規則審査委員会審議可決後、9月度例会において事業の周知、PRを実施します。

■委員会訪問における広報活動

9月財政規則審査委員会審議可決後、9月度委員会訪問にて事業内容をPRし、参加促進を図ります。

■SNS(Facebook、Instagram)における広報活動

広報渉外委員会に依頼し、JCI福岡公式アカウントから事業内容のPRを発信し、参加促進を図ります。

■JCI福岡ホームページにおける広報活動

広報渉外委員会に依頼し、JCI福岡ホームページにて事業内容をPRし、参加促進を図ります。

【達成できた点】

対内への広報活動に関しては、計画議案にて記載した内容通りに実施致しました。

【達成できなかった点】

メンバーの参加人数は83名でした。これは、

- ・各アクションスポーツの体験ブースの対象年齢が小学校1年生から6年生までを対象とした点
- ・一般参加者の応募をメインと考え対外向けの広報活動に絞って行った点

が要因と思われます。

【検証】

委員会訪問、例会、SNS、HPでの告知は審議可決後速やかに実施することができました。事業が2日間に渡り行われていた点を活かし、1日目終了した段階で事業1日目の様子をSNSや福岡青年会議所HPにてアップする等、メンバー参加促進用の広報活動を行う必要がありました。また、事業当日も直接メンバーへ参加を呼び掛けるアナウンスをすれば良かったと反省しています。

7. 安全対策の検証

【基本方針】

雨天、雷雨の場合は同時開催のカラフルフェス運営事務局と協議の上、体験会・大会は中止とします。公益財団法人 福岡県スポーツ推進基金へ体験会用のセクション・体験カリキュラムを贈呈致します。

10月14日 過去5年天気

10月15日 過去5年天気

2022カラフルフェスマニュアル

【医療危機対策】

■医療責任者:副委員長 森重樹

ケガおよび体調不良等トラブルを発見したJCメンバーは医療責任者へ連絡をします。

病院での処置が必要な場合は会場責任者の指示とメンバーとの連携を図りながら、最寄りの医療機関へと搬送します。

【安全対策】

各体験ブースはすべて専門の講師との打ち合わせを入念に行っており、各ブースごとに専門家の意見を取り入れて安全に事業実施できるように努めています。

安全に体験できる人数、また体験人数に応じた必要数の専門講師を配置するよう努めています。

BMX、スケートボードに関しては肘あて、膝あて、ヘルメットの着用を行います。

また各ブースに委員会スタッフを配置し、講師と連携しながら安全に体験ブースの運営をおこなっていきます。

各体験ブースに参加することで事故が起こった場合、トラブルになることを避けるため、主催者側または事務局は責任を負わず、自己責任とする同意書を体験ブース受付にて保護者にご記入いただくこととします。

【救護会場について】

体験会において怪我が発生する可能性は極めて低いですが、万が一を想定し、救護についてはRKB様カラフルフェス内に設置する救護会場を利用させていただきます。

同意書

※同意書にはサインいただきますが、万が一に備えてレクリエーション保険に加入しています。

■緊急搬送先

医療機関名：ももち浜山王病院

所在地：福岡市早良区百道浜3-6-45

電話：092-832-1100

〇9:00~17:00まで受け入れ可能

緊急対応フロー

【前日準備における安全対策】

本事業前日2023年10月13日（金） 13:00~17:00に準備を行います。

すべてのブース設置は、それぞれの競技で講師を依頼している協力団体が設置します。

来場者ゲートは専門業者へ設置撤収依頼をしています。

委員会メンバーは協力団体の指示を仰ぎながら、お手伝いという形で設置を行います。

【会場内警備対策】

会場内警備を行います。

会場内誘導係が随時会場内の警備を行います。

■具体的警備方法

・何らかのトラブルが発生し、対象者が指示に従わない場合は施設外への退出を促します。

この対応には複数人であたることとし、怪我等の被害が生じないように注意します。

【検証】

当日は天候にも恵まれ、怪我の報告もなく、安全に事業を実施することができました。

8. 工夫点及び波及効果の検証

【工夫点】

興味を持った子供たちが体験できるコーナーをつくり、見て、体験して、知ってもらう機会をつくりました。この事業で市民の皆様はアクションスポーツの楽しさを知っていただき夢と希望を与える事業にします。

事業実施後には、行政・民間の関係各社と福岡青年会議所で懇親会を行い今後の連携を深めていただきます。

【検証】

参加者アンケート結果からも「子供たちが楽しんでくれて新しい機会になった」「オリンピック選手になりたい」とのコメントを多数いただきました。ほとんどの方が来年このような事業が開催されれば「また参加したい」と回答をいただいています。事業1日目終了後には講師の方々、福岡県スポーツ局/平間局長、福岡県スポーツ推進基金/中平専務理を交えての懇親会を開催し福岡のまちにどうアクションスポーツを広めていくかの話で大いに盛り上がるすることができました。また、JCI名古屋柳澤委員長にも事業参加いただき他LOMとの交流、波及効果があったものと確信しております。

□(報告)懇親会の風景

□(報告)JCI名古屋柳澤委員長感想

【波及効果】

一般体験型事業で「する」機会を創出し体験することで楽しんでいただきます。

競技人口を増やすことで、認知度をあげ練習環境の整備や支援の広がりにつながります。

今回の事業を行うにあたり継続的な体験する機会を作って欲しいとのお声もいただいております。今後は公益財団法人福岡県スポーツ推進基金に体験カリキュラムを引継ぎ継続して実施していただきます。

この計画段階から生まれた声が、本事業で協力者を増やすことにより実現します。

その結果、福岡でアクションスポーツが普及し、地域のスポーツとして根付いていきます。

【検証】

事業終了後、各競技の担当者からスクールに通う子が増えた、スクールに来てくれたとの連絡がありました。これは当初波及効果で狙っていた「競技人口を増やす」ことに大きくつながったと考えています。また、福岡県ではパルクール専用の施設をつくる計画があり、早速、福岡県スポーツ局/平間局長とパルクール代表安部氏が打合せの日程を決めるなど支援の可能性を感じる場面も創出することができました。

9. 理事長所信実現の検証

「いつの時代であっても私たちは「次代にあったこと」をするのではなく「次代のためにできること」をするべきであると考えます。今の時代、未来を感じ、どんなFUKUOKAにしたいか。壮大なストーリーを描き続けるしかありません。無謀と思える未来でも、実現困難な夢でも。この1年何をすべきか、どう動くべきか。壮大なストーリーに追いつくためには進み続けるしかありません。」

次々とオリンピックの正式種目として決定していくほど注目されているアクションスポーツですが、FUKUOKAのまちに根付かせるためにはまだまだ課題や問題がたくさんあります。無謀と思える未来も、実現困難な夢も叶えるためには進み続けるしかありません。

【検証】

アンケート結果から、アクションスポーツの認知度、イメージ向上に繋がったと考えます。アクションスポーツの課題はまだありますが、新しいスポーツがFUKUOKAのまちに根付くきっかけとなることができました。

10. 事業終了までの行動計画

[こちら](#)

10- 事業終了までの行動計画に関する検証

1.

行動計画に則って実施することができました。

11. 事業当日の運営マニュアル

[こちら](#)

11- 事業当日の運営マニュアルに関する検証

1.

議案本文記載のとおり、事業1日目のタイムスケジュールに差異ができましたが、それ以外は運営マニュアルに則って実施することができました。他委員会の応援についても応援マニュアルを作成していたためスムーズにお手伝いを依頼することができました。

12. コンプライアンスに関する事項 コンプライアンスチェックシートへの記入

12- コンプライアンスに関する検証 1.

特になし

13. 前年度からの引継ぎ事項

特になし

13- 前年度からの引継ぎ事項の検証 1.

特になし

13- 次年度への引継ぎ事項 2.

◆各体験ブースの講師に関して

体験時間が競技によっては短く設定されていました。たくさんの子供たちに体験していただきたく設定した時間帯でしたが、講師の方々のパフォーマンスを見てもらって体験するという形を取ればまた違った面白さもあったかと思えますし子供達の感想も違ったかもしれません。

◆製作したセクションに関して

今回の事業で使用した、各種目のセクションは福岡県スポーツ推進基金に寄贈しています。今後、利用の機会がある場合は福岡県スポーツ推進基金の中平専務理事に連絡してください。利用することに関しては了承をいただいております。

◆題目に関して

今回の事業にてNO ACTION！NO FUKUOKA！という題目は出来れば引き継いでいただきたいと思えます、副題の部分はまた新たに考えていただければ、昨年提言した内容を引き継ぐ意味にもなり、今回作成したのぼりもまた利用可能となります。

◆事前支払いが必要なものに関して

事前支払いがあるものに関しては審議可決後、速やかに手配し、手配ができていないか必ずダブルチェックをすること。

◆共催に関して

急遽先方の都合により会場レイアウト変更など専務決済が発生いたしました。共催で事業を行う場合は先方都合で福岡青年会議所のスケジュール、ルールから外れてしまう場合があるので共催側の関係者との良好な関係構築、入念な打ち合わせが必要になります。

メリットとしては高い集客力、競技者はやはり多くの方に観てもらいたいという思いが一番の為、今回共催を行うことでこの思いを実現することができました。「アクションスポーツを福岡の地に根付かせたい！」というRKB様の思いと福岡青年会議所の思いが一致したことが事業成功への大きな要因になりました。この思いが一致することでより大きな相乗効果を生み出します。JCI福岡のロゴが入った旗を会場のメインスペースに多く立てることができ、延べ5万人の来場者に対しての福岡青年会議所のブランディングにもつながりました。共催の場合は特に福岡青年会議所を知らずに来場される方が多く予想されるので、今回のようなロゴ入りの旗などにしっかり予算をとり、設置するスペースについても共催相手としっかり交渉することで福岡青年会議所のPRにつながります。

◆来場者カウントに関して

今回、当委員会から2名で来場者カウント作業に当たりましたが、各体験会につき一人選任でカウントする人を配置することでより正確な人数がカウントできます。参加人数が多ければ多いほどエリアを明確にしカウントを行う人数は増やすべきだと考えます。

他にも参加者にリストバンドや参加賞等を用意し配布量で集計を取る方法や、参加ボタン・シールを準備して集計する方法も考えられます。

規模や会場の出入り口、設営の種類によってしっかり検討することでより正確な集計ができます。

14. 討議・協議のポイント

事業日当日の想定すべき事に関して

15. 特記事項

特になし

16. 委員長所見

福岡の地にアクションスポーツを根付かせたい。

昨年の「子ども未来都市宣言」に記載された一つ「アーバンスポーツシティ」の実現の足掛かりになるべく、事業構築をはじめ、各所にヒアリングを行いました。

様々な案が出ましたが、そのすべてに市民、特に子供たちにアクションスポーツに触れて楽しさを感じて欲しいという想いがありました。

県や市も取り組もうとはしているものの、実情は伴っておらず、取り組みの難しさもヒアリングを通して感じました。しかし、だからこそ青年会議所がやる価値のある事業になると実感しました。

マナーの問題や遊びというイメージが強いですが、「スポーツ」として、その楽しさと可能性を感じて欲しいということで、体験会を主体とし、かつプロのパフォーマンスを観られる事業を構築しました。

議案も紆余曲折ありましたが、副委員長を中心にメンバー全員が最後まで諦めることなく駆け抜けてくれました。この頑張りや他団体との協力体制を築くことに繋がったと感じています。結果としてスポーツに適した時期に地元企業との共催という最高のカタチで事業実施ができました。

共催までの道のりや、決まってからの打ち合わせも何度も難航することがあり、一時は開催も危ぶまれました。しかしながら、副委員長、スタッフと共に想いを伝え、ほぼこちらの要望通り実施ができました。

当日は目標来場者数を上回る盛況ぶりで、当日枠を用意していた体験会も全ブースでキャンセル待ちが出るほどでした。私もですがメンバー全員が、大変ながらも楽しく設営ができたことはとても嬉しく思います。そして何よりも多くの子供たちの笑顔が印象的でした。今回の事業により、アクションスポーツを始めたいという言葉や、ご協力業者様のスクールに実際にお申し込みもいただいています。またスポーツ推進基金に贈呈したセクションに関しては福岡県下の自治体での活用のPRも済みであり、本事業が間違いなく今後、福岡のまちにアクションスポーツを根付かせる一助になれたと確信しています。

事業成功のため委員会メンバー全員がそれぞれの事情を抱えながらも走り続けてくれたことは委員長として大変嬉しく、また各メンバーそれぞれの大きな成長の機会となりました。

この経験を今後のJC活動、そして仕事やプライベートに活かし、大いに活躍してくれることを心から願っております。

事業の目的に共感し、ご協力いただいた関係各所の皆様、そして走り続けてくれた委員会メンバーには感謝しかありません。

本当にありがとうございました。

過去の議案の流れ

12月度 財政規則審査委員会

意見 : 講師3名のマイナンバー取得は大丈夫ですか？

対応 : 既に入手していますので事務局へ提出致します。

意見 : 理事長のプレイキン参加は議案内容と違うので書き換えてください。

対応 : 本文追記致します。

意見 : 稲尾産業の請求書は？

対応 : 事前支払の為、領収書を添付しています。

意見 : レクリエーション保険未加入について、内容を追記してください。

対応 : 本文追記致します。

12月度 常任理事会

意見 : カリキュラムが簡易に見えるが、これをどのように活用していくのか？

「今後の運用について」という添付資料にあるとおりアクションスポーツチャレンジキャンプと題して福岡県スポーツ推進基金が福岡県の自治体を中心に活用なされます。その際には今回の関係団体の方々が講師として同行されるようになっていきますので、カリキュラムを渡して終わりではなく、指導までさせていただきます。

意見 : 来場者数カウントについて来年に引継ぎ事項に追記してはどうか？

対応 : 引継ぎ事項に追記致します。

意見 : 一般の方のアンケート回収について改修率を上げる方法を記載してみては？

対応 : 本文に追記致します。

意見 : 体験会に参加できない方も楽しめる仕掛けがあっても良かったのでは？

対応 : 当日枠は準備していましたが、参加できない方への配慮をするべきでした。

意見 : 共催のメリットは大きかったと思うので内容をもっと追記してください。

対応 : 本文に追記致します。

資料

審議対象資料

1.	(報告)対内アンケート結果.pdf
2.	(報告)一般来場者アンケート結果.pdf
3.	(報告)BMXカリキュラム.pdf
4.	(報告)スケートボードカリキュラム.pdf
5.	(報告)プレイキンカリキュラム.pdf
6.	(報告)パルクールカリキュラム.pdf
7.	(報告)セクション.pdf
8.	(報告)ビジョンカー前PRタイム.pdf
9.	(報告)競技者用アンケート結果.pdf
10.	(報告)大会エントリー一覧.pdf
11.	(報告)出場者一覧.pdf
12.	(報告)スケボー大会.pdf
13.	(報告)BMX体験会.pdf
14.	(報告)スケボー体験会.pdf
15.	(報告)プレイキン体験会.pdf
16.	(報告)エキシビジョンマッチ.pdf
17.	(報告)パルクール体験会.pdf
18.	(報告)会場図レイアウト変更.pdf
19.	(報告)広報活動写真.pdf
20.	(報告)RKB中継.pdf
21.	(報告)アンケート結果(講師用).pdf
22.	(報告)アンケート結果(競技者用).pdf
23.	(報告)懇親会風景.pdf
24.	(報告)今後の運用について.pdf

25.	<u>(報告)JCI名古屋柳澤委員長感想.pdf</u>
26.	<u>財政規則審査委員会 指摘リスト (12月度) スポーツ文化委員会.pdf</u>